歴　史　総　合

（解答番号 101 ～ 116 ）

第１問　歴史総合の授業で，「歴史上における境界」という主題を設定し，生徒が探究した。これらの活動に関して述べた次の文章**A**～**C**を読み，後の問い（**問１**～**８**）に答えよ。（資料には，省略したり，改めたりしたところがある。）（配点　25）

A　最初の授業で，児玉さんは国際関係における「境界」に着目して，19 世紀後半の東アジア諸国の国境に関連する**資料**を見つけ，**パネル**を作成した。

資　料

我が国と貴国との条約では，（中略）日清間の境界を確定せず，一昨年に台湾出兵が発生した。昨年また我が国と朝鮮との間で事件が起こったのも，この条約に境界を明記していないためである。

（『大日本外交文書』）

パネル

中国王朝を中心とする世界観には，理念上，「境界」はないとされたが，実際には，中国王朝と周辺諸国・諸民族との間には，上下関係で結びつけられた秩序が存在していた。

それは，ⓐ主権国家からなる国際秩序とは異なっていた。そのため，18 世紀末にイギリス人マカートニーは，琉球諸島の帰属先に対する戸惑いを記録している。

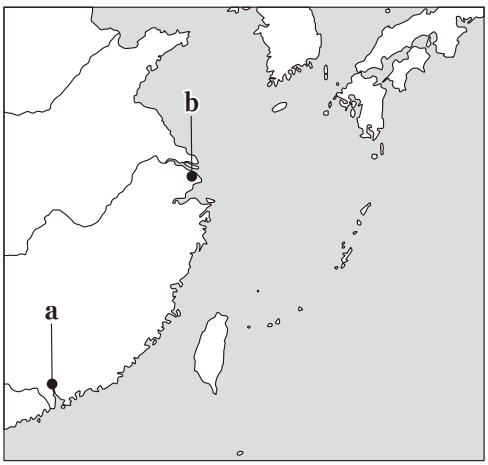
また，**資料**は，19 世紀後半に朝鮮で起こった事件の後，当時の日本公使が李鴻章に主張したものである。ここからは，日本が清を中心とする国際秩序に対抗しようとしていたことが分かる。朝鮮王朝は，それをどのように受け止めただろうか。

問 1　下線部ⓐについて述べた文**あ・い**と，後の図に示された，18 世紀末にイギリス人が自国船での利用を公認されていた港の場所 **a** ・ **b** とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 101

下線部ⓐについて述べた文

あ　朝貢と冊封によって結びつけられた秩序。

い　諸国家が，外部の干渉を受けずに，国境内の統治権を認め合う秩序。



①　**あ** ― **a**　　②　**あ** ― **b**　　③　**い** ― **a**　　④　**い** ― **b**

問 2　**資料**と**パネル**から読み取れることや，その背景について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 102

①　**資料**中の「我が国と貴国との条約」とは，下関条約である。

②　**資料**中の「事件」が起こったのは，清仏戦争の前である。

③　**資料**中の「事件」が起こった時期の日本では，外国人は自由にどこにでも居住できた。

④　**資料**中の「事件」を契機に，日本と朝鮮はともに領事裁判権を認め合う対等な条約を締結した。

B　次の授業で，丸島さんは，疫病の流行が「境界」を意識させることに興味を持ち，先生と話をしている。

丸　島：ⓑ1858 年の日本でのコレラ流行は，アメリカ軍艦ミシシッピ号の乗組員がもたらしたものだとされています。私はこの時代の水際対策に興味があるのですが，各国はどのように国境で検疫を行い，人やモノの移動を制限したのでしょうか。

先　生：1851 年の国際衛生会議では，検疫の実施をめぐって大きく対立しました。例えば，［ア］は，［イ］ということを理由に，検疫に反対しました。

丸　島：検疫実施に反対したことには，［ア］が穀物法を廃止したことにも通じる考え方があったのですね。

先　生：そのとおりです。その後，第一次世界大戦終結から第二次世界大戦勃発までの時期には，政治的対立を乗り越えて，国際保健協力を発展させる動きも見られました。例えばこの時期，［ウ］にもかかわらず，国際保健の面では協力がなされたというような事例が挙げられます。

丸　島：なるほど，疫病流行は国を越えて起こるものだからこそ，対立を乗り越えて国際協力を実現することが重要だという認識が，こうして生まれたのですね。

問 3 会話文中の空欄［ ア ］に入る国の名と，［ イ ］に入る文との組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 103 ］

① **ア** ― イギリス
イ ― コレラの国内侵入を水際で阻止し，人的被害を抑制する必要がある

② **ア** ― イギリス
イ ― 国家が，船の通行や入港を制限することで，貿易を妨げるべきではない

③ **ア** ― スペイン
イ ― コレラの国内侵入を水際で阻止し，人的被害を抑制する必要がある

④ **ア** ― スペイン
イ ― 国家が，船の通行や入港を制限することで，貿易を妨げるべきではない

問 4 会話文中の空欄［ ウ ］に入る文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 104 ］

① イギリスが，「光栄ある孤立」政策を堅持していた

② パレスチナに建国されたイスラエルが，アラブ諸国との間で対立を深めていた

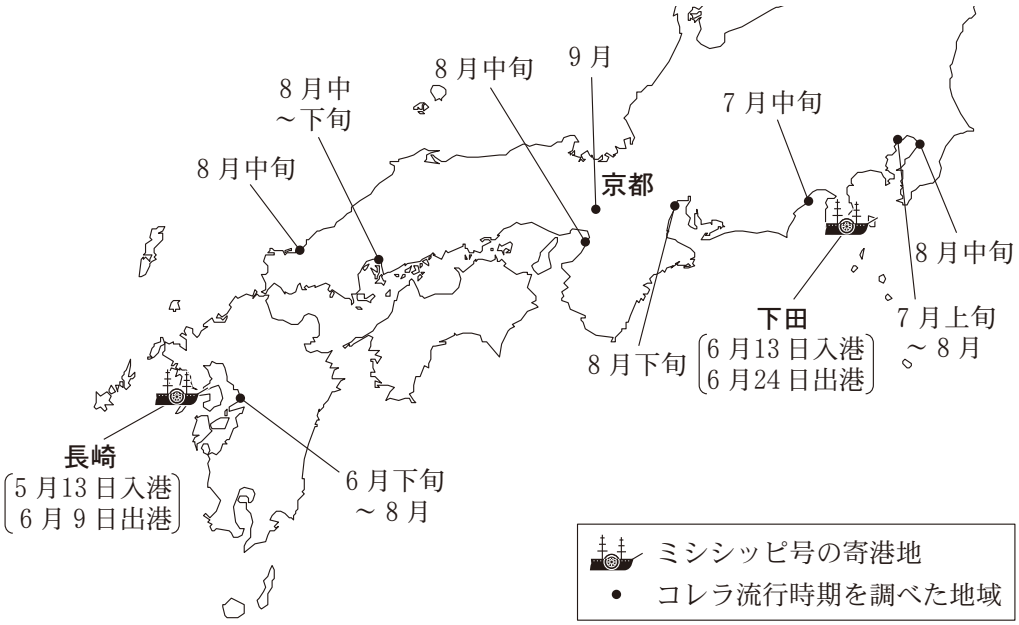
③ 日本が，盧溝橋事件をめぐる調査に反発し，国際連盟を脱退した

④ 第一次世界大戦で敗戦国となったドイツが，当初国際連盟に加盟できなかった

問 5　丸島さんは下線部ⓑについてさらに探究するため，後日，「維新史料綱要データベース」などを用いて，ミシシッピ号の寄港地と各地の流行時期を調べ，**地図**を作成した。**地図**から考えられる事柄をまとめた**メモ 1 ・ 2** の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

105

地　図　ミシシッピ号の寄港地と九州～関東地方のコレラ流行時期



メモ 1

関東地方でのコレラ流行が近畿地方・中国地方より早いのは，下田から感染が広がったからだと考えられる。

メモ 2

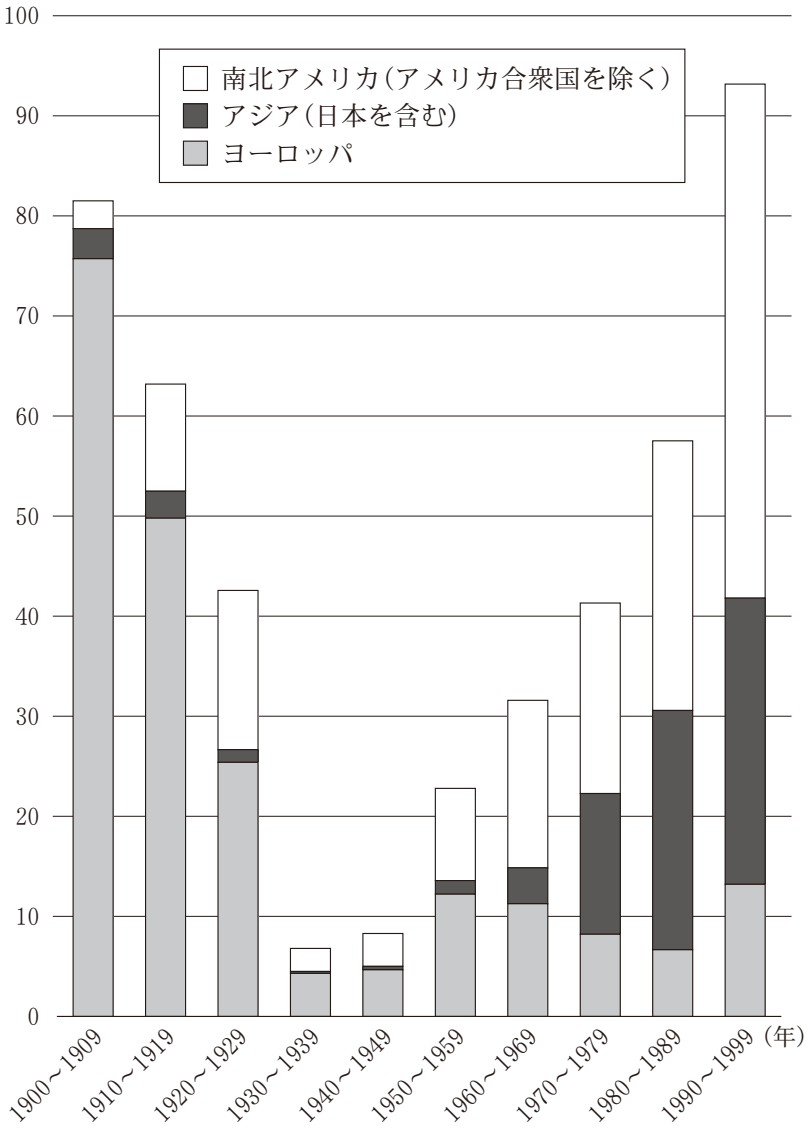
近畿地方・中部地方のコレラ流行拡大の起点となったのは，流行時期から見て，京都であったと考えられる。

① **メモ 1** のみ正しい。　② **メモ 2** のみ正しい。
③ 二つとも正しい。　④ 二つとも誤っている。

C　授業後に，「境界」がもたらす人やモノの移動の制限という問題に着目した松田さんは，アメリカ合衆国へ渡った移民について調べ，**グラフ**を作成した。

グラフ　アメリカ合衆国への出身地域別移民数

（単位：10 万人）



（*2021 Yearbook of Immigration Statistics* より作成）

問 6 **グラフ**から読み取れることとして**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 106

① 1900～1929 年の時期では，ヨーロッパからの移民が最多を占めている。
② 世界恐慌が始まってからの 10 年間に，移民の総数が急激に減少している。
③ ベトナム戦争を契機に，アジアからの移民が減少している。
④ 冷戦終結後の 10 年間には，南北アメリカ大陸からの移民は 400 万人を超えている。

問 7 松田さんは 20 世紀後半の時期に着目して，アメリカ合衆国を含む西側諸国とほかの地域との間の，人やモノの流れに影響を与えた出来事を調べ，**メモ**にまとめた。**メモⅠ～Ⅲ**に書かれている出来事について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 107

メモⅠ

チェコスロヴァキアでは，民主化を求める動きがワルシャワ条約機構軍の介入により挫折した。このことが，西側諸国への亡命者が増えるきっかけとなった。

メモⅡ

鄧小平が，「四つの現代化」を国家の基本方針として決定した。このことが，アメリカ合衆国への留学や，企業の相互進出のきっかけとなった。

メモⅢ

カストロが，社会主義政権を樹立した。このことが，アメリカ合衆国に難民が流出するきっかけとなった。

① **メモⅠ — メモⅡ — メモⅢ**　② **メモⅠ — メモⅢ — メモⅡ**
③ **メモⅡ — メモⅠ — メモⅢ**　④ **メモⅡ — メモⅢ — メモⅠ**
⑤ **メモⅢ — メモⅠ — メモⅡ**　⑥ **メモⅢ — メモⅡ — メモⅠ**

問 8 児玉さん，丸島さん，松田さんは，さらに探究するために，「人やモノの移動が境界を越えて促進された場合の影響」という主題を立て，その主題を探究するための問い**あ・い**を考えた。問い**あ・い**と，それぞれの問いを考察するための学習活動として最も適当なもの**W**～**Z**とについて，組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 108

主題を探究するための問い

あ ベルリンの壁が崩壊したことによって，人やモノの移動は，どのような影響を受けたのだろうか。

い 明治政府が，海外から知識や技術を輸入したことで，人々の生活はどのように変化したのだろうか。

考察するための学習活動

W ドイツ関税同盟が成立した前後における，物流の違いを比較する。

X 1988 年と 1990 年の東西ドイツにおける，人口の流動を記した資料を比較する。

Y 第一次世界大戦の講和会議における，日本政府の外交方針を調べる。

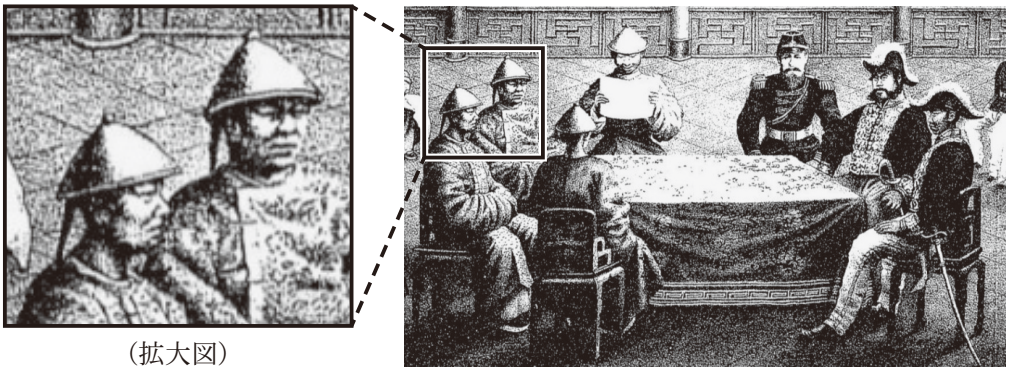
Z お雇い外国人が関わった産業施設を見学し，労働環境について調べる。

① **あ** — **W**　　**い** — **Y**
② **あ** — **W**　　**い** — **Z**
③ **あ** — **X**　　**い** — **Y**
④ **あ** — **X**　　**い** — **Z**

第 2 問　歴史総合の授業で，身の回りの諸事象が日本や世界の歴史とどのようにつながっているかを，装いの歴史を通して，資料を基に探究することとした。これらの活動に関して述べた次の文章**A**・**B**を読み，後の問い(**問 1** ～ **8**)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点　25)

A　政治家・官僚・軍人の装いを題材としながら，**図 1** ・ **2** から読み取れる情報について生徒と先生が話をしている。

図 1



(拡大図)

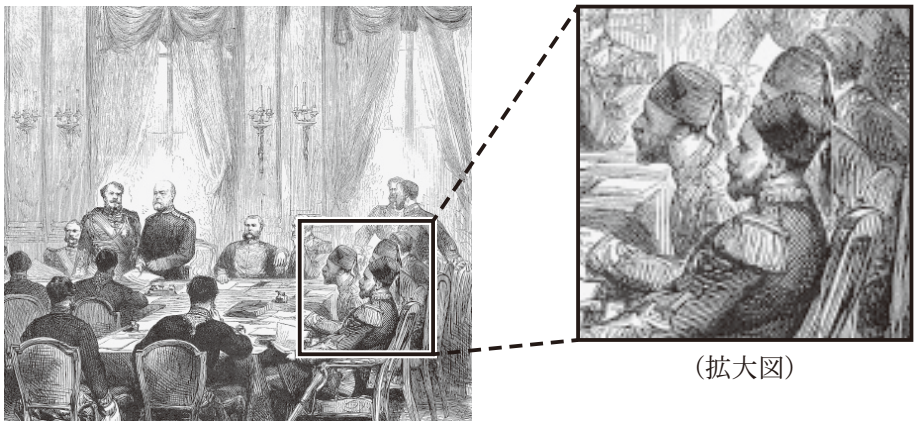
高　橋：**図 1** では，装いの異なる二つの集団が向き合っています。

水　野：左側の人たちは，頭の後ろで髪を結っています。これは辮髪(弁髪)ですね。

高　橋：**図 1** の説明文にも，そう書いてありました。右側で応対しているのは，日本人のようです。国家間の公式の外交の場で洋服を着ています。

先　生：そうなると，ⓐ**図 1** の会談が行われた時期を推定できますね。

図 2



（拡大図）

中　島：私が見つけた**図 2** は，1878 年にⓑベルリンで開催された国際会議の様子を描いています。

大　井：みんな洋服を着ていますが，右端の人たちの帽子は独特ですね。

先　生：これは「トルコ帽」といって，オスマン帝国の政治家や軍人が着用した被（かぶ）り物です。19 世紀前半に洋装化と合わせて導入されたものですが，礼拝の邪魔にならないよう，つばが付いていません。

大　井：オスマン帝国の近代化改革は［ア］と呼ばれますが，トルコ帽の採用は，［イ］することで帝国の立て直しを図るという，この改革の方向性を象徴しているようです。

先　生：すばらしい考察です。このように図像から読み取れる情報は多いのですが，ほかの資料と組み合わせるとさらに分かることがあります。例えば，ⓒ政治家や軍人が着ていた洋服は，次第に庶民にも広まっていきます。統計資料から，この点を探究してみましょう。

出題範囲：**歴史総合**

問 1　会話文中の空欄［ ア ］に入る語句と，［ イ ］に入る文との組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 109 ］

① **ア** ― タンジマート　**イ** ― 急速な世俗化政策により西洋化を推進
② **ア** ― ドイモイ　**イ** ― 急速な世俗化政策により西洋化を推進
③ **ア** ― タンジマート　**イ** ― イスラームの儀礼に配慮しつつ西洋化を推進
④ **ア** ― ドイモイ　**イ** ― イスラームの儀礼に配慮しつつ西洋化を推進

問 2　前の会話文を参考にしつつ，下線部ⓐを推定する方法について述べた文**あ**・**い**と，その方法で絞り込んだ時期として最も適当なもの**W**～**Z**とについて，組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 110 ］

下線部ⓐを推定する方法

あ　中国の官吏の間で，辮髪の風習が広く見られた時期を調べる。
い　日本の政治家や軍人が，洋装を取り入れていった時期を調べる。

絞り込んだ時期

W　清が滅亡する契機となった辛亥革命までの時期。
X　溥儀を執政とする満洲国が建国されるまでの時期。
Y　近代的軍隊が創設される契機となった明治維新以降の時期。
Z　日本の第一次世界大戦への参戦以降の時期。

① **あ** ― **W**　**い** ― **Y**
② **あ** ― **W**　**い** ― **Z**
③ **あ** ― **X**　**い** ― **Y**
④ **あ** ― **X**　**い** ― **Z**

問 3　下線部ⓑに関連して，中島さんは日本とドイツの交流に興味を持ち，修好通商条約締結のために日本にやって来たドイツ(プロイセン)の使節団の情報を，**ノート**にまとめた。**ノート**について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 111

ノート

> **Ⅰ**　1860 年 5 月，ベルリンを発(た)ち，地中海から紅海を経てインド洋に入った。同年 8 月，シンガポールで別隊と合流した。
>
> **Ⅱ**　1860 年 9 月，日本に達して条約締結交渉を始めた。日本側で交渉にあたったのは，安政の五か国条約の時と同様であった。翌年 1 月，日本との間に修好通商条約が結ばれた。

① **Ⅰ**について，当時ヴィルヘルム 2 世が，積極的な対外政策を進めていた。

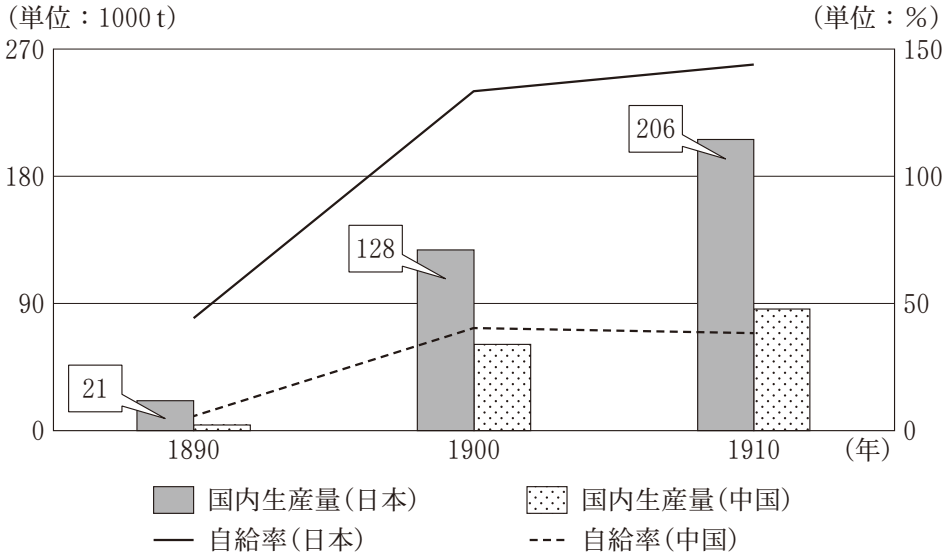
② **Ⅰ**について，当時シンガポールは，ドイツ(プロイセン)の植民地であった。

③ **Ⅱ**について，日本は，ドイツ(プロイセン)との条約以前に，他国と修好通商条約を結んでいた。

④ **Ⅱ**について，当時，諸外国との条約締結交渉にあたったのは，朝廷であった。

問 4　下線部Ⓒに関連して，洋服の素材生産に興味を持った高橋さんたちは，日本と中国における綿糸の生産量と自給率を調べて，**グラフ**を作成した。綿糸の生産量に関して述べた文**あ・い**と，**グラフ**から読み取れることに関して述べた文**X・Y**とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 112

グラフ　機械製綿糸の生産量と自給率(1890～1910 年)



(阿部武司『日本綿業史』，久保亨ほか『統計でみる中国近現代経済史』などより作成)

綿糸の生産量に関して述べた文

あ　綿糸の生産量は，力織機の台数から推計できる。

い　綿糸の生産量は，紡績機の錘数(すいすう)から推計できる。

グラフから読み取れることに関して述べた文

X　中国では，1910 年の時点で，国内生産量が国内消費量を上回っていた。

Y　帝国議会開設後の 10 年間に，日本の国内生産量は 5 倍以上増加した。

① **あ — X**　② **あ — Y**　③ **い — X**　④ **い — Y**

B　三つの班が，女性の装いに関する資料を収集し，発表に向けた準備をしている。

問 5　1 班は，1920～1930 年代の東アジアの女性の装いについて調べ，**パネル 1** を作成した。**パネル 1** から読み取れることや，その背景について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 113

パネル 1

- 欧米の最新の装いや髪型を模倣した女性は，1920 年代後半の東京や大阪で，モダンガールと呼ばれた。
- 大衆化の進展に伴い，1930 年代の京城や上海，天津などでも，モダンガールの装いが見られた。
- 上海で 1931～1937 年に発行された女性誌『玲瓏（れいろう）』では，モダンガールが表紙を飾ることもあった。

① 日本のモダンガールと呼ばれた女性の髪型は，ロングヘアーを特徴としていた。

② 東アジアでは，独立国，植民地，租界を問わず，モダンガールの装いが見られた。

③ モダンガールが闊歩（かっぽ）した 1930 年代の京城には，統監府が設置されていた。

④ 『玲瓏』が上海で創刊された当時の中国は，中華人民共和国である。

問 6　1班は，さらに，1920～1930年代のイタリアでも，フランスから影響を受けて，新しいファッションが見られたことに関心を持った。そこで，イタリアのファッション雑誌に掲載された，ムッソリーニが設立したモード公社の目標に関する記事(**資料**)を手に入れた。**資料**について述べた文**あ**・**い**の正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 114

資　料

> 第一の目標は，衣服産業の国内市場の制圧である。国内の芸術家，職人，産業家，商人は，フランスびいきの消費者がイタリア製品に下す過小評価に対抗しており，最大限の支援を必要としている。
>
> (Eugenia Paulicelli, *Fashion Under Fascism: Beyond the Black Shirt*)

あ　思想や言論を統制するファシズム体制の下，国産衣服の生産が奨励された。

い　フランスもファシズム体制であったため，ファッションに対するフランスからの影響は歓迎された。

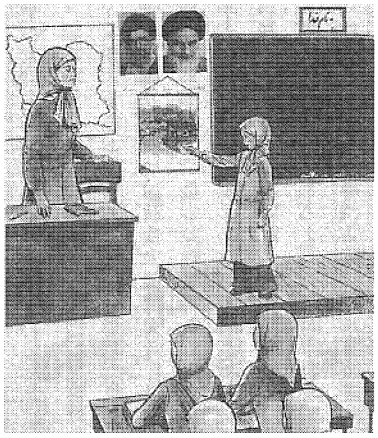
① **あ**―正　**い**―正
② **あ**―正　**い**―誤
③ **あ**―誤　**い**―正
④ **あ**―誤　**い**―誤

問 7　2班は，20世紀後半のイランにおける女性の装いについて関心を持ち，**パネル 2** を作成した。**パネル 2** に関して述べた文**あ**～**え**について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 115

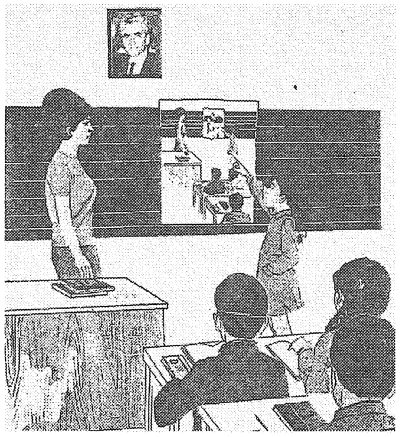
パネル 2

・『コーラン(クルアーン)』では，女性は家族以外の男性には，「美しい部分」を隠すことが正しいとされる。
・イラン＝イスラーム革命の結果，女性はヴェールなどで髪や肌を隠すように義務づけられ，高校まで男女別学となった。
・小学校の様子を描いた**挿絵 1 ・ 2** は，小学1年生の国語教科書のもので，教室には，それぞれの時期の国家元首の写真が掲げられている。

挿絵 1



挿絵 2



あ　挿絵の授業風景を時代の古い順に並べると，**挿絵 1** → **挿絵 2** となる。
い　挿絵の授業風景を時代の古い順に並べると，**挿絵 2** → **挿絵 1** となる。
う　イラン＝イスラーム革命の結果，西洋化が推進された。
え　イラン＝イスラーム革命の結果，イスラームの教えに基づく共和国が成立した。

① **あ・う**　② **あ・え**　③ **い・う**　④ **い・え**

問 8　3班は，女性の装いに関連して，第二次世界大戦後の女性の社会的地位や女性へのまなざしの変化について調べた。発表準備のために作成した**メモⅠ～Ⅲ**の内容について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 116

メモⅠ

性別役割分業が完全にはなくなっていないことを背景に，「ジェンダー平等を実現しよう」が国連サミットの「持続可能な開発目標（SDGs）」の一つに採択された。

メモⅡ

日本で男女雇用機会均等法が制定され，性別役割分業にとらわれず，女性を採用したり昇進させたりすることが，事業主の努力義務とされた。

メモⅢ

アメリカ合衆国では，公民権運動などの高まりを背景に，性別役割分業や「女性らしさ」を問い直す女性解放運動（ウーマン・リブ）が起こった。

① メモⅠ ― メモⅡ ― メモⅢ
② メモⅠ ― メモⅢ ― メモⅡ
③ メモⅡ ― メモⅠ ― メモⅢ
④ メモⅡ ― メモⅢ ― メモⅠ
⑤ メモⅢ ― メモⅠ ― メモⅡ
⑥ メモⅢ ― メモⅡ ― メモⅠ